

第41回建築士事務所全国大会(和歌山大会) 開催地会長あいさつ



和歌山会会長
小川 浩

和歌山は本州最南端に位置し、黒潮踊る雄大な景勝地で、県土の81%が山地です。紀の国和歌山は「木の国」でもあります。詩人の佐藤春夫が「空青し 山青し 海青し」と詠い、長い時を紡ぎ培われた歴史・文化そしてロマン溢れる美しい自然が、悠久の時を経て連綿と受け継がれてきた、魅力溢れる所です。

中世より約1,000年以上の間、熊野三山の熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社に詣でるため、平安貴族に始まり武士、庶民に至る人々が歩いた参詣道は、古く万葉の時代より、「蟻の熊野詣」として大勢の人々が参詣しました。また、弘法大使空海が開創した高野山真言密教の根本道場。古来より人々の強い信仰のもと、魂の安息の地として発展した山上宗教都市です。開創より、1,200年が過ぎました。それらは「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されています。

日本の味と言うべきでしょうか、かつお節を開発したのも紀州の人々であり、近代の幕開けを果たした鉄砲、諸国の漁民に先駆けての捕鯨法や、紀州流と称される高度な漁業技術をはじめ、菱垣廻船、尺八、虚無僧、備長炭等々も紀州によって始められたと書かれています。

和歌山には、日本人の心の中にあるふるさとの懐かしい風景、文化が息づいています。心温まるおもてなしで迎えてくれる里や旅人の疲れを癒す温泉、自然に恵まれた土地ならではの素材を使った料理がごぞいます。

今年の全国大会は、近畿ブロック各界の皆様の多大なご協力のもと、和歌山県和歌山市で開催します。全国の会員の皆さまとの交流を和歌山会会員一同楽しみにしておりますので、多くのご参加を心からお待ちしております。本年10月6日、紀の国和歌山でお会いしましょう。

